

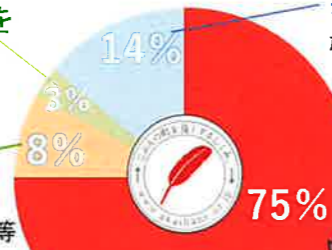
赤い羽根共同募金

10月1日～12月31日
運動が始まります!

募金の 使い道は...

災害時のボランティア活動を支援するために
災害時に設置される災害ボランティアセンターの活動支援等

福岡県を良くするために
福祉施設や地域の福祉団体等の支援等



共同募金運動を推進するために
啓発活動や募金グッズ等の作成

じぶんのまち「春日市」を
良くするために
市内のさまざまな福祉活動へ

ボランティア活動へも...

- ★各種ボランティア講座
- ★個人・団体の活動支援
- ★ボランティア通信の発行
- ★ボランティア交流会
- ★ボランティア研修会
- ★ボランティア保険の助成 などなど...

春日市を良くするために赤い羽根共同募金から配分があり、
わたしたちがボランティア活動をするときにも活用されています。



募金活動に
ご協力おねがいします!

募金の方法 ~ 募金もボランティア活動のひとつです~

- 社会福祉協議会・ナギの木苑の窓口(領収証が必要な方)
※共同募金は税制上の優遇措置が受けられます
- 募金箱(市内の公共施設や郵便局、店舗等)
- 赤い羽根自動販売機(売り上げの一部が寄付されます)
- 物品募金(図書カードやクオカード等)
- 小学校・中学校での募金
- 駅前やスーパー等での街頭募金

赤い羽根共同募金についてもっと知りたい!
方はこちらでも確認できます!!

赤い羽根のホームページ『はねっと』

www.akaihane.or.jp

あなたの「募金」が私たちのまちの「福祉」に
どのように役立てられているかご覧いただけます。



4年ぶりに
開催します

WELCOME!

イベント情報

かすがフリーマーケット IN 社協

日時 **11/12 (日)**
10時~
午後2時30分

社会福祉センター(昇町3-101)
全体を使って行うイベントです。
みなさんぜひお越しください!

※ 出展者の募集や物品の募集
は行っておりません

- ◆フリーマーケット(2階ブースのみ)
- ◆食品コーナー(TENSHO BURGER、たのしみ隊)
・キッチンカーによる、ハンバーガーとチュロスの販売、焼き鳥
- ◆遊びの広場(ぶどうの庭)
小さなお子様も遊べる広場ですよ~♪
・キャンドルすくい、コリントゲーム、くじ引き、的あて
・ハンドメイド品の販売
- ◆癒しの体験会コーナー(SMILECARE 鍼灸院、POLA)
日頃の疲れを癒しませんか?
・国家資格所有者による施術
・ハンドトリートメント、お化粧品品の販売
- ◆販売コーナー(はるかぜ、ピースファーム、フルール、豆の力屋)
・野菜や豆腐、クッキー、雑貨等の販売コーナー

347号



かすがボランティアセンター

ボランティア通信

住所 昇町3-101 電話 501-1136 FAX 581-7258

令和5年10月1日号

読書の秋・食欲の秋・芸術の秋...ボランティアの秋!

ボランティア、はじめませんか?

参加者募集中!

運転ボランティア講座

参加
無料

運転ボランティアは、外出をお手伝いしてほしい人と、お手伝いできる方で成り立つ住民同士の支え合いのボランティアです。春日市では一般の公共交通機関を利用することが困難な人を対象に、社会福祉協議会が持つ福祉車両を運転ボランティアが運転して、外出支援を行う住民参加型の移送サービスをしています。現在、協力してくれる方が足りません。移送サービスがどんなものか、利用者が多い車いすについて、実際に乗ったり、介助方法を体験したりして、なぜこのサービスが必要なのか分かる講座です。興味のある方、自分にもできるかも?と思われた方、まずは講座に参加してみませんか?

- ※ 活動内容としては車いすは乗降のみ。身体介助は基本行いません
- ※ 運転ボランティア活動前には福祉車両運転と車椅子固定研修を実施するので安心です!
- ※ 基本の活動は月~土で調整します
- ※ 利用したい方から相談があったのちに運転ボランティアさんと調整します(現在、多くても月1~2回程度の活動です)

日時 11月8日(水) 午前10時~正午
場所 社会福祉センター 2階 大会議室(昇町3-101)
対象 75歳以下で普通免許をもっていること
お申し込み 先着15名

※ 10月31日(火)までに電話かFAX、メール
のいずれかで、住所、氏名、電話番号を伝えて下さい。

スキマ時間の活用に!



まずは、いろいろ体験してみたい方は...

いきいきフェスタ春日2023

10/22 (日)
10時~午後3時

いきいきプラザ、春日小学校、福祉ぱれっと館で福祉・子育て・健康について楽しみながら学べるイベントが開催されます! 体育館ではボランティア連絡協議会のボランティア体験コーナーもあります。筆談・点字・パソコン教室・布絵本など、気になるボランティアがあった方はこの機会にぜひ体験してみませんか?

ボラ運も力を合わせてボランティア体験コーナーを出しています

10月 秋のいろいろボランティア

かすがボランティアセンターではいろいろなボランティアを募集しています。問い合わせ先が載っていないものや、活動や行事の詳細、参加の申し込みについてちょっと聞いてみたいことがある・・・などお気軽にお問い合わせください。なお、内容に変更や締め切りが生じている場合もあります。



ボラセンメールアドレス



かすがボランティアセンター

☎ 501-1136 Fax 581-7258 (昇町 3-101)
月曜日～土曜日(日・祝は休み)午前 8時30分～午後 5時



もどむ 野外活動のお手伝い

子育てネットワーク春日

学びあい塾 秘密基地づくり

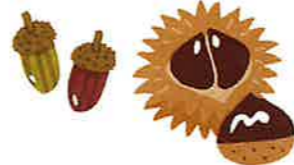
自然活動を通して生命や自然の不思議さ、大切さを五感を使って学ぶ塾です。自ら考えて行動し、考えて探求し、人とつながる力を養います。子どもたち(小中学生)を見守りつつ、一緒に遊んで楽しんでくださる方を募集します。ご不明な点はお問い合わせください。

募集対象… 高校生以上 連絡先 … 子育てネットワーク春日 吉村(☎080-4690-7518)
近藤(☎090-7298-5548)

日時… 11月12日(日) 午前8時～午後2時

内容… 子どもたちの班活動に加わって、秘密基地=あばら小屋を作るので、のこぎり作業や道具運びなどの見守りと支援をお願いします

場所… 春日保全林 集合場所… 県営春日公園(春日公園1丁目35)



～“想い”を“かたち”にした2023の夏～

夏のボランティア体験!・・・チャレンジ報告

ボランティアには関心はあるけれど、学校や仕事、子育てや介護などでなかなか参加できない・・・という方も多いと思います。そんななか、夏休みを利用して勇気をだして「はじめの一步!」にチャレンジした方が今年もたくさんおられました。

福岡でも豪雨災害があり、災害ボランティアに参加された方が今年もたくさんおられた印象です。夏のボランティア体験にチャレンジした方の中から、ふたりの高校生に感想を聞いてみました!



初めて夏休み期間中に高齢者施設のボランティアに参加しました。参加する前までは学校で介護の勉強をしていることや、自分の祖母とたくさん話をしたり手伝いをしていることもあり、自分の中に「できる」という自信がすこしありました。

けれど・・・いざボランティアに参加してみると、「何をしたらいいのか」「利用者さんとのように関わればいいのか」など、初めてのこともあって思い描いていた理想と現実のギャップに戸惑うこともありました。

何度もボランティアに参加していくにつれて利用者さんから顔や名前を憶えていただき、介護のお手伝いをするやりがいや楽しさを感じることができました。

また、私が折り紙が得意ということから、施設で私主催の「折り紙教室」をすることになり、利用者の方とペンギンを折りました。ひとりひとり、個性のあるかわいいペンギンができていました。

私は、この夏休みのボランティア体験を通して、これから将来に向けてのいい経験をさせていただいたと思います。参加して、本当に良かったです!

鶴田 真衣さん(高校2年生)

参加したボランティア・・・高齢者施設での見守り・お話し相手



もどむ 施設でのお手伝い

デイサービスでのお手伝い

施設に通ってこられる高齢者の方と楽しく静かな時間をすごしてくださる方募集しています

日時…月曜～土曜日 午前10時～午後4時30分の間
であなたの来れる日・時間帯をお願いします

内容…利用者の話し相手、見守り、ドライヤーがけなど

場所… かすがの郷デイサービス(塚原台3-129)

募集対象… 高校生以上

条件… 活動前にボランティア保険に加入

※ ボランティア保険は4月1日～3月31日まで350円で加入できます。ほかの型や一部助成もあるのでボランティアセンターにお尋ねください

発達障がい児支援

日時… 月曜～土曜日 午後1時～5時の間で
あなたの来れる日・時間帯をお願いします

内容… 4歳から小学生の子どもたちの遊び相手、宿題を見てあげたり、外出時の見守りの支援など

場所… 放課後等デイサービスREBORN(リボン)
(一の谷3-27)

募集対象… 高校生以上

高齢者施設でのお手伝い

日時… 月曜～土曜日 午前9時～午後4時15分の間で
あなたの来れる日・時間帯をお願いします

内容… 利用者の話し相手、お茶出し、見守りなど

場所… デイサービス～あゆみ～春日小倉館
(小倉5-156)

募集対象… 高校生以上



居場所づくりの活動「はつらつ会」と「なごみの部屋」に参加し、そこで活動をしている人、利用している人など様々な人と出会い、たくさんお話をし、自分の世界が広がった気がしています。

ボランティアをしているときに、視覚に障害のある人の支援をするガイドボランティアというものがあるのを知り、ちょうどその講座があるということで参加しました。

ガイドボランティア講座の中では、実際に目の見えない方や実際にガイドボランティア活動をしているボランティアさんとも出会いました。目が不自由というのはどういうことか、目の見えない人への手引きの方法などを学びましたが、実際に目の見えない方との交流や、自分自身が手をひいてもらう体験をすることで、伝えてほしい情報は何かを考えることができたり、ガイドする方もされる方もお互いの信頼を得るためにも会話は必要だと改めて気が付くことができました。

この夏休みはボランティア体験のおかげで高校生活三年間の中でも最も充実した夏休みになりました。またこれからもいろいろなボランティアに参加して自分の見解を広げていきたいです

糸瀬 さくらさん(高校3年生)

参加したボランティア・・・障害のある本人たちの会のバスハイク支援、高齢者の居場所のお手伝い、ガイドボランティア講座